



あなたと結ぶ 議会情報誌

12月
定例議会

平成29年1月24日 発行

No. 155

最上町 議会だより

春 平成29年最上町消防団出初式

はしごのり復活

新年を語る...2
12月定例議会...3
議案審議...4
一般質問...7
所管事務調査報告...10
請願提出 教えて議会...11
議会の動き 編集後記...12



女性初のラッパ隊

12月
定例会
6日～9日

平成 28 年度の一般会計・特別会計 追加補正予算可決

補正額 3 億 8018 万円 総額 116 億 7290 万円

一 般 会 計（収入）			（単位：万円）
項 目	補 正 額	合 計 額	
負 担 金	130	9,314	
使 用 料	65	6,591	
国 庫 補 助 金	9,774	4 億 5,568	
県 補 助 金	1,607	2 億 4,745	
県 委 託 金	22	2,869	
財 産 運 用 収 入	200	1,752	
財 産 売 払 収 入	755	5,582	
繰 越 金	4,390	2 億 2,570	
雑 入	1,717	5,532	
町 債	1 億 4,050	9 億 1,630	
一般会計合計	3 億 2,050	21 億 6,153	
補正後予算額		70 億 9,763	

特 別 会 計			（単位：万円）
項 目	補 正 額	合 計 額	
国 民 健 康 保 険	4,886	13 億 4,244	
介 護 保 険	246	12 億 2,578	
最上病院（収益収入）	557	11 億 8,419	
介護老人保健施設	0	3 億 2,980	
水 道（収益収入）	10	9,765	
簡 易 水 道	4	1 億 9,775	
下 水 道	265	1 億 9,766	
特別会計合計	5,968	45 億 7,527	
総 合 計	3 億 8,018	116 億 7,290	

千円単位は四捨五入

主 な 補 正 予 算

■ 一般会計（第 6 号）

○ 福祉灯油購入費助成事業扶助費	200 万円	○ 公共道路改良工事請負費	3,700 万円
○ 臨時福祉給付金給付費	2,853 万円	○ 最上中学校大規模改修工事請負費	
○ 軽度生活支援事業委託料	238 万円		20,330 万円
○ 水田畑地化基盤強化対策事業費	1,720 万円	○ 各種全国大会出場激励金	112 万円



謹 賀 新 年

将来を見据え 的確な提言を！

最上町議会議員 菅 俊 郎



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様方には輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。さて、ご承知の通り国は今、地方の急激な衰退に慌て「地方創生」の大合唱、同時にその対策も含め景気対策予算の配分を各自治体に大幅に増加させ、平成 27 年度当町として 70 億円を突破し、平成 28 年度はさらに増加することが確実と思われる。しかし、近い将来町の

人口がさらに減少し、同時に予算規模も大幅に縮小することが確実視される状況にあり、その状況に耐えられる行財政改革の必要性、特に歳入歳出規模に見合った行政の規模をしっかりと見直し改革を早急に断行すべきとの、議会としての提言を平成 28 年 9 月定例会において町長に提出いたしました。現下の諸課題に適切な対応を取ることはもちろん重要であります、将

来を見据え的確な提言を行政に行うことが議会としての大切な役割であり、その責務を今後ともしっかりと果たして参る所存でございますので、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。迎えられる新年が、町民の皆様方にとり幸多い素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。年頭の挨拶いたします。

月宿小学校わらじ作りの様子

本年もよろしく お願いいたします									
議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員
宮本 浩	尾形 勝雄	二戸 守	大沼 正視	渡邊 英俊	橋本 正	佐澤 浩	石原 英一	菅 征悦	議員 伊藤 一雄
副議長 佐藤 義男									議長 菅 俊郎

当選回数順に掲載



議

案

審

議

——主な質疑の中から抜粋——

■新庄最上定住自立圏形成協定の一部変更について

Q 最上8市町村で水道事業の広域連携を行えば有利だと思いが、新庄市とのみなのか。町の業社への影響は現れないのか。

A 8市町村の連携を考えています。資材の共同購入、システムの運用、保守点検、台帳整備等の連携を模索して参ります。地元業社への影響は特にないと考えています。

■地域優良賃貸住宅（モデル住宅）設置及び管理に関する条例設定について

Q 家賃、敷金、退去時

対応等の規定の設定は。

A 使用期限は5年とし、月額家賃税込5万760円。敷金は家賃3カ月分、退去時対応は敷金での対応を原則とし、適正な管



▲ 集合住宅建設風景

理に向けて入居者に事前説明していく。また、町内に住所を有する者はもちろん町内に住所を有していないが入居後直ちに町の住民となる者も入

居可能である。

■農業委員会の委員定数に関する条例の設定について

Q 欠員が出た場合に、すぐに補充されないのか。

A 規則で定めることとなりませんが、農地利用最適化推進委員については担当する区域が設定されており、速やかに欠員を補充しなければならぬと考えます。

どの様な方を想定されているのか。

A 先行している農業委員会の例では、農業者でない役場職員や農協職員の退職者を選任している事例が多く見受けられるので、当町でもそのような形で考えています。

Q 農業委員12名の内、1名は中立的な方となっていますが、



農業委員会研修視察

■税条例等の一部を改正する条例の制定について

Q 今回の改正でなにが変わるのか？

A 国の法律改正により、延滞金の算出方法の変更や医療費控除の拡大等が生じたためこれらの条文の整理が必要です。

■ふれあいの里の指定管理者の指定について

Q 指定管理者は今までと変わらないが、業務内容の違いはあるのか。

A 管理業務として今まで通りゲートボール場、運動広場、小規模多機能施設さくらの他に、新たにグラウンドゴルフ場の管理も加わりました。運動増進の施設に関しては利用者を増やす取組みを引き続き行っていく予定です。

補正予算

歳入

Q 今回の補正額3億2千万円により、総額が70億円を越えました。このことを受けて次年度への考えは。

A 国の二次補正予算により、事業採択を受け、有利に事業を実施できることとなり、併せて新年度に予定した事業を先行できることから、多額の補正となりました。次年度予算分を補正したことから、次年度予算の縮減にも繋がります。

Q LED防犯灯の設置状況は。

A 約250基が整備済みで、約750基が未整備であります。リース事業に取り組むと、集落の負担が大きすぎることから区長と話し合い、事業を取り下げる事に致し

ました。

歳出

総務費

Q ふるさと納税の現状は？

A 当初の目標は2億5千万円。年内で2億円に到達するペースです。納税者数はほぼ1万人程ですが、そのうちリピーター率は16～17%となっています。

Q せんしん館の今後の計画は？

A 旧館と新館の構造になっていますが、50年経過した旧館が予約を取らず今後は取り壊し、新たな赤倉の活性化拠点として生まれ変わるようにしたい。マンスリーマンションでの経営は今年度限りと考えています。



旧館の部分解体予定のせんしん館（赤倉）

テムと、医療情報との効果的な連携が、今後益々必要とされますので、情報管理上における安全性の確保に努めながら、職員相互の研修機会の充実と連携強化を通して、より積極的に活用して参ります。

がら、今後もコストを下げていきたい。

衛生費

Q 健康カルテシステムを、保健関係と医療関係との共有し合う連携についての考えは。

A 保健関連の情報シス



町政を問う

3 議員が一般質問

一般質問は、行政全般にわたる議員主導による政策議論であり、大所高所からの政策を建設的立場で議論し、効率的な会議運営が必要なることを十分理解し簡明で、しかも内容のある質問を展開するものです。



宮本 浩 議員

これからの地域公共交通について

町長答弁 利用しやすく、継続できる公共交通体系を構築していく

問 町営バスでは向町一側線が毎日運行しているが、それ以外の路線は週に2回で便も少ないのが現状。これで果たして、住民に等しく公共交通を提供していると言えるのか？

答弁 「公平・平等性」の観点からすれば民間事業者を引き継いだ形の向町一側線と他の路線では格差が生じている点は否めません。また利用者の人数に関わらず運行しなければいけないため、効率性を追求しきれない

問 町営バスでは向町一側線が毎日運行しているが、それ以外の路線は週に2回で便も少ないのが現状。これで果たして、住民に等しく公共交通を提供していると言えるのか？

答弁 町営バスでは向町一側線が毎日運行しているが、それ以外の路線は週に2回で便も少ないのが現状。これで果たして、住民に等しく公共交通を提供していると言えるのか？

問 現在、問題になっている高齢

問 観光の観点から、例えば行楽シーズンに列車の時間に合わせて町内の観光地を周遊するバスを走らせることで列車の利用促進、地域経済の活性化に繋がると思うが、観光、交流人口の



▲ 改善が求められるバス停留場

答弁 自主返納しやすい環境にするための支援事業を来年度から行えるように進めている。支給はタクシー券、または商品券

答弁 魅力発信やPRだけでなく、近隣、沿線市町村との連携。太平洋、日本海の魅力をセッとした二次交通の在り方など、それらの総合した広域的PRがこれから必要だと考えています。

農 林 費

Q 水田畑地化基盤強化対策事業の現在の面積と今後の計画は。

A 本事業の始まった平成15年から平成28年度の事業実績は約104haの面積となっております。今後も畑地化の団地化や高収益性作物の作付け面積を増やす事業展開を図って参ります。

Q 有害鳥獣駆除が大きな問題となり、町でも熊10頭を捕獲したと聞いておりますが、その内容と今後の体制作りの考えは。

A 熊の捕獲のための箱罠の設置件数は35件で、その内捕獲した頭数が10頭であります。今後は、今年度の取組みを基に猟友会との連携を強化し、住民と行政、関係機関が協力して有害鳥獣に対する環境作りを図って参ります。

ます。

商 工 費

Q 施設維持修繕費の内容は。

A 町民体育館入口の屋根の雨漏り修理等になります。体育施設として、卓球大会などの競技利用

の促進が期待されます。

教 育 費

Q 町のサッカースポーツ少年団、最上ユナイテッドFCが県大会で優勝し全国大会へ出場するが、町の対応は。

A 県内115チームの



▲ 全国大会への出場を決めた 最上 UNITED・FC

頂点に立ち、12月25日から鹿児島県で開催されます。町では100万円を激励金として支援します。

Q 2月に全国中学校スキー大会が開催されますが、応援体制はどうなっているのか。

A 全国大会なので小学生、中学生も応援に参加させたい。現在、垂れ幕を製作中です。

Q 「封人の家」の観光にJRを利用して来られた方へのおもてなしについて。

A 今は国道沿いに看板がありますが、堺田駅付近にも「封人の家」までの案内板を設置してJRを利用された観光客にも配慮していきます。

病院事業会計

Q 町立最上病院の雨漏り等の補修について。

A 現在、院内で雨漏りが5ヶ所ほど確認されており、町民の安全安心を保つため、早急に対応して参ります。

Q 下水道事業会計

Q 浄化センターの維持修繕費、当初でも多額の予算が計上されていたが？

A 今回の補正の内容は、停電時にも対応できるようにするためのバッテリー修繕。更新やメンテナンスは修繕計画を立てながら実施しています。

Q 管渠の維持修繕費の内容は？

A マンホールポンプ2箇所の修繕です。原因は老朽化や風雨による劣化で、非常通知装置やケーブルの修繕を行います。

若者の力をどう地域に活かすのか



町長答弁 自信と誇りを持って住み続けられる町づくりを目指す

問 地方分権の進展とともに、好むと好まざるにかかわらず、善い政治の競争「善政競争」の時代が確実に到来しております。自治体にとって、この競争を勝ち抜くには、知恵とアイデアが欠かせません。その地方の知恵を無限大に引き出せるのが若者たちであると考えます。若者の力や思考は決して侮れません。地域の未来を一緒に考え、一緒に住みたくなる土壌を作っていくことが、真の地方創生であり、真の地域づくりと考えます。

答弁 地域コミュニケーションがこれまで発揮して来た様々な体験を通じて若者の社会的な自己形成の支援、地域づくりに参画する機運の醸成等、今こそ改めてその地域コミュニティが持つ力を再構築していかなければならないと考えています。若者を取り巻く仕事や子育て環境の多様化や地域活動の情報不足等、社会情勢の変化が及ぼす影響も非常に大きなものがあると思っております。そうした中で、若者が参加型において、相互のコミュニケーションを通じて、地域の事業の企画立案や行動に踏み出すその環境づくりを町と町民が手を携えて進めていかなければならないと考えております。その基軸となるものは、自治協働



最上祭り（みこし）

の町づくりであり、最上町総合戦略のプロジェクトに掲げる地域間連携と集落自治の確立の意義は、まさしく地域コミュニティの再構築の意味を持つものと考えています。若者、地域における担い手の育成支援の基盤には、その事が不可欠なものと思われまます。自治協働の町づくり検討委員会を立ち上げ、自治協働

の町づくり基本条例の制定を目指し、現在、議論を重ねております。取り組みの根幹には、次代を担う若者が自信と誇りを持って住み続けられる町を目指した町づくりがあり、若者が活躍できる社会は、子どもから高齢者までが住みやすい町であることの証であると考えています。

保育所・こども園への看護師配置の必要性和有効性は？

町長答弁 次世代の子育て支援では安全安心な保育環境を目指します



問 子育て大国に向けて、あたごこども園、大堀保育所、富沢保育所への看護師配置の必要性和有効性について、保育所は主に0歳～6歳までの子どもを預かり、先生方は日々の業務の他、子ども達に何かあった時の事故対応策の研修があると聞きました。

答弁 12月現在、あたごこども園115名、大堀保育所69名、富沢保育所28名の在園児となっております。又、あかぐら幼稚園8名、みつわ保育園7名、計227名の乳児・幼児を51名の保育士及び保育助手が日々の子どもの健康・安全を守るための保育を行っています。又、改めて看護師経験者等の人材確保が出来れば配置することが望ましい

いものであると思ひます。小学校と併設されている園と学校教諭の関係も各種検診を一緒にお願いしたり、流行性疾患などの相談をする程度にとどまり、保育時間中のケガなどの処置は町立最上病院にて診察を受けるなど万全の対応をしております。また、園児に特別な配慮を要する事があれば、町健康センター保健師と連絡を取ることになっております。来年度の事業計画の中で「子ども子育て包括支援センター」を計画しており、母子保健型として専任の助産師や保健師を

週何日かワンストップの相談環境を整え、子育て支援に資する事業であります。なお、次世代を育成する子育て支援はリスク管理を行い安全・安心な保育環境の整備を展開して参りたいと考えています。



▲ あたごこども園の園児たち

【陳情・請願、意見書提出】

項 目	提 出 者	付 託 常 任 委 員 会	結 果
請願 第 28-3 号 前森 1 区 区内の歩道新設に関する請願	→ 前森 1 区 区 長 菅原 秀一	→ 産業厚生常任委員会 紹介議員 石原 英一	→ 継続審査
請願 第 28-4 号 30 年産を目途とする生産数量目標配分の見直しにかかる最上町農業振興協議会の機能発揮に関する請願	→ 新庄最上農業協同組合 組合長 安食 賢一	→ 産業厚生常任委員会 紹介議員 二戸 守	→ 採 択

新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会

委員長 佐藤 義男

先進事例調査の実施

今後、人口減少や高齢化率がさらに深刻化することが予想される中、地域医療、介護、福祉の連携が求められる地域包括ケアシステムの将来あるべき姿を学ぶため 11 月 4 日、岩手県一関市の「国保藤沢病院」における地域医療・地域ケアの事例について、最上町ウエルネスタウン関係職員含め、総勢 29 名で調査を実施しました。



▲岩手県一関市 藤沢病院長



教えて議会!?

議会のしくみ、用語を分かりやすく解説!!

■ 議員が質問できる回数は 3 回まで!?

最上町の場合、通常の議案では、同一の議題については基本的に 1 人 3 回までと会議規則で定められています。(ただし、特例に議長の許可を得た時には、この限りではない)

これは、特定の議員に自由に無制限に質疑させては、他の議員の発言に影響を及ぼすだけでなく会議の能率的な進行を妨げる事になるためです。

ただし 3 月の予算審議は案件も多く、より議論を深めるために、回数制限をなくしています。



所 管 事 務 調 査

総務文教常任委員会

委員長 二戸 守

生まれた子どもが残りたくなる
最上町づくり

北海道^{びらどり}平取町は、人口 5909 人で農業生産額 63 億円中トマトで 43 億円の売上げる町を視察し、若者移住・定住化に向けた施策と農業後継者育成事業について調査しました。平成 10 年から、道外からの新規参入者が 30 件、家族数 70 人がトマト栽培を実践し、安定した収入を得ていました。

北海道^{あつま}厚真町は人口 4681 人で、若者定住に向けた施策と宅地分譲事業について調査をしました。現在まで

に分譲区画数 583 あり、483 が分譲済みでした。平成 24 年から、自然豊かな田園環境から町内や近隣市町の職場に通勤する子育て世代を対象にした「かみあつまきりりタウン」を整備しておりました。

我が町に置き換え、農業後継者育成、そして若者定住に向けた現地視察であり、今後も調査を行い報告いたします。



産業厚生常任委員会

地方創生における産業振興

委員長 大沼 正視

町では昭和 40 年代の団地造林後 50 年近くになり、伐期を迎えようとしている。そこで今後の里山の活用と造林をどうしていくのか、杉に替わる材はないのか、先進事例を学び調査するために 11 月 23 ~ 25 日の 3 日間岡山、兵庫、京都を訪問し研修をしました。今後もさらに調査を行い報告いたします。



- 11 月 23 日 岡山県英田郡西栗倉村 (株)西栗倉 森の学校
- 11 月 24 日 日本木材加工技術協会センダン試験植林視察^{しそ} 宍粟市他
- 11 月 25 日 京都府立大学 大野演習林早成樹試験地^{にしあわくら}

議 会 の 動 き



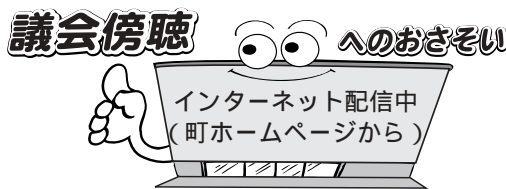
最上小国川流水型ダムコンクリート初打設



▲ 大船渡市・最上町友好都市協定調印式



▲ 東北整備局長へ47号バイパス要望書提出



今後の定例会は3月です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362

【月毎の主な日程】 10月～12月の活動日数 57日	
▼〔10月〕	
4日	議会広報編集委員会 元国保中央会田中一哉氏講演会
5日	町消防委員会
6日	県社会教育推進大会 最上を拓く高規格道路大会
8日	もがみ大産業まつり
10日	ブラジルサンパウロFCジュニアチーム歓迎会
11日	最上小国川流水型ダムコンクリート初打設安全祈願祭
11日	産業厚生常任委員会 議員懇談会(最上小国川清流未来振興機構事務局と懇談)
14日	最上地方町村議会議員研修会
17日	県町村議会議長会 議員研修会
18日	若者定住モデルタウンモデル住宅合同上棟式 議会広報編集委員会
22日	最上校文化祭 町総合芸術文化祭開幕式
24日	産業厚生常任委員会 「ウエルネスもがみ」創造に関する特別委員会 総務文教常任委員会
25日	町村議会広報全国研修会
27日	県事業要望会
28日	舟形町サケふ化場落成式
29日	大船渡市長、板橋副区長との懇談会
30日	岩手県大船渡市との友好都市盟約締結式
▼〔11月〕	
3日	町定例表彰式、町民フォーラム
4日	新たな「ウエルネスもがみ」の創造に関する特別委員会現地視察
7日	「石巻・新庄道路」地方要望
8日	農委・JA理事・議会三者懇談会幹事会
9日	第60回町村議長全国大会
10日	県町村議会議長会 議長行財政セミナー 最上地方町村議長会視察研修
13日	健康福祉まつり
14日	議会運営委員会 最上の地域医療を考える住民つどい 総務文教常任委員会
15-17日	総務文教常任委員会所管事務調査視察研修
18日	全員協議会
23-25日	産業厚生常任委員会所管事務調査視察研修
24日	北方領土返還要求山形県民大会
25日	町雪対策関係機関連絡会議
28日	議会運営委員会
30日	石巻・酒田間地域連携サミット
▼〔12月〕	
1日	全員協議会 鳴成会との交流会
2日	最上校運営懇談会
6-9日	12月定例会 本会議
7日	(株)もがみ木質エネルギー新工場落成式
8日	議員懇談会
17日	赤倉温泉スキー場開き 最上ユナイテッドFCサッカー全国大会壮行式

誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

編集後記

平成28年度の世相を表す漢字一字が「金」となりました。リオオリンピックにおける日本人選手の「金」メダルラッシュに日本中が感動と希望に包まれ、4年後の東京オリンピックへの期待で盛り上がりました。反面、東京オリンピックの巨額経費問題、また政治と「金」に絡む問題も次々と浮上してきました。中央のことだと思っていたが山形県議会の中でも「政務活動費」の問題が大きく取りざたされました。最上町議会では政務活動費はありませんが、ますます襟を正して、町民の幸せのために最上町が名実ともに「さいじょう」の町として「金」イコール、ナンバーワンになることを祈って初詣に行ってきた。

(橋本 正)

【発行責任者】

議長 菅 俊郎

【広報編集委員会】

委員長 二戸 守

副委員長 大沼正視

委員 佐澤 浩

委員 橋本 正

委員 尾形勝雄

委員 宮本 浩